

プロトキー®大腸がんリスク検査

血液検査で 大腸がんリスクを 知ることができます

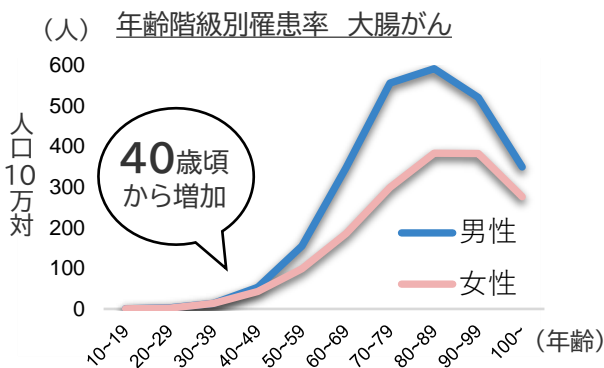


今のリスクを知ることで
早めの対策につながります

大腸がんの
がん死亡数順位※
女性 1位
男性 2位

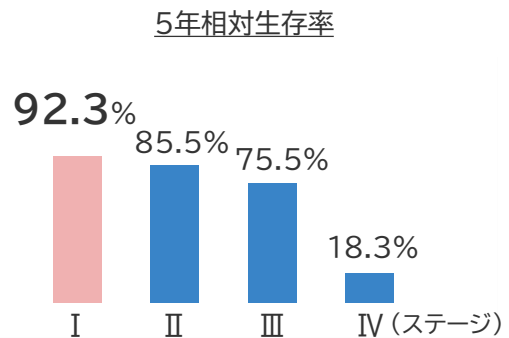
大腸がんについて

大腸がんは、日本人が最も多くかかるがんです。
40歳ごろから増加しはじめます。




国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)
2021年より作図

早期発見し治療すれば 90% 以上が治ると言われていますが、早期の場合、自覚症状はほとんどありません。



国立がん研究センターがん情報サービス
「院内がん登録生存率集計」2014-2015診断例より作図



症状がないうちに
現在のリスクをチェックしましょう
毎年継続して受診することが大切です

大腸がんリスク検査って？

大腸がん患者で増減がみられた血液中のペプチドを測定し、現在の大腸がんのリスクを評価する検査です。



採血のみ

便潜血検査の受診が難しい方にも受診いただけます



事前準備不要

検査前の薬剤投与や食事制限はありません



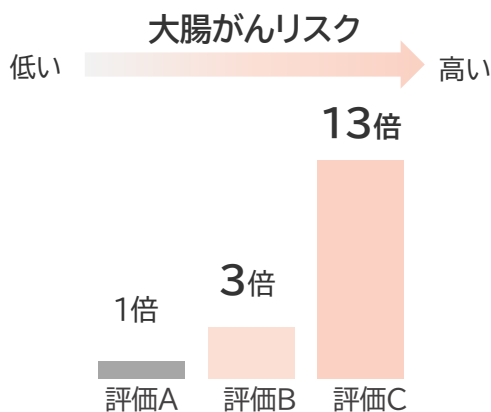
短時間

他の血液検査と同時に検査できるので忙しい方にもオススメです

大腸がんリスクが分かると？

大腸がんリスク検査では、現在の大腸がんリスクを3段階で評価します。現在の大腸がんリスクを知ることによって、生活習慣の改善や精密検査の受診など、自分に合った対策が分かります。

※大腸がんを診断するものではありません



※評価Aを1としたときの大腸がんである倍率。開発元データ



自分に合った
対策が分かります



このような方が受けています

生活習慣に関する心配

- ・運動不足だ
- ・喫煙している
- ・肥満気味だ
- ・野菜が不足しがち
- ・飲酒習慣がある
- ・加工肉をよく食べる

健診内容に関する心配

- ・いつもの健診だけでは不安
- ・便潜血検査を受けていない
- ・便潜血検査の結果が陽性だったが放置している

